

事業所名		放課後等デイサービス 青空				支援プログラム（参考様式）		作成日		2025 年		1 月		18 日	
法人（事業所）理念		「教える・理解させる」のではなく、スタッフが生徒を『理解する』ことで自分から頑張る環境を作り、学ぶ楽しさを発見することが大切だと考えます。													
支援方針		一人ひとりとしっかり向き合い『心』のこもった暖かい支援を行い、生徒の想いを理解します。													
営業時間		10 時		0 分から		17 時		30 分まで		送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持、改善（子ども発達特性に応じた心身の異変に気付く、きめ細やかな観察。） ・基本的な生活スキルの獲得（食事、排泄、衣類の着脱、生活の場面における環境の工夫。子どもの状態に応じて適切な時期に適切な支援をする。） ・生活習慣、生活リズムの形成（健康状態の維持、改善、生活リズムを身に付ける。更に衣類、室温の調節や換気、病気の予防や安全への配慮。）													
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上（日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図る。） ・保有する感覚の活用（視覚、聴覚、触覚、嗅覚等の感覚を十分に活動できるように、遊び等を通して支援する。） ・感覚の特性への対応（感覚の過敏や鈍麻等の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。）													
	認知・行動	・認知の特性についての理解と対応（一人一人の認知の特性を理解し、情報を適切に処理できるよう支援する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。） ・対象や外部環境の適切な適切な認知と行動の習得（環境や状況を把握・理解できるようにするとともに、これらの情報を的確な判断や行動に繋げることができるよう支援する。） ・行動障害への予防及び対応（感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切な行動への対応の支援を行う。）													
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上（障害の種別や程度、興味・関心等に応じて、言葉だけでなく表情や身振り等を用いて意思のやり取りをするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けることができるよう支援する。） ・言語の受容と表出（話し言葉や文字・記号を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるように支援する。） ・状況に応じたコミュニケーション（伝える側と受け取る側の人間関係や状況を把握し、状況に応じて主体的にコミュニケーションを展開できるように支援する。）													
	人間関係 社会性	・情緒の安定（自身の感情や気持ちに関心を持ち、その変化の幅を安定させることができるように援助し、安定した情緒の下で生活ができるように支援する。） ・自己の理解と行動の調整（できる事や苦手な事など、自分の行動の特徴を理解し、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるように支援する。） ・仲間づくりと集団への参加（手順やルールを理解して遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、相互理解や互いの存在を認め合い、仲間づくりにつながるよう支援する。）													
家族支援		保護者面談（随時） 関係機関との連携						移行支援		進学先との情報共有					
地域支援・地域連携		関係各所との連絡事項の共有 市内福祉事業所等との連携						職員の質の向上		採用時研修（採用後3ヶ月以内に実施） 社内研修 外部研究（年1回以上）					
主な行事等		季節行事（各月） 外出行事（遠足） 買い物体験 歌声発表会													